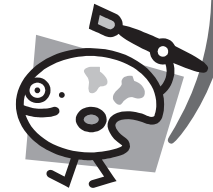


連載開始にあたって

大西 建輔

(東海大学理学部情報数理学科)



大学全入時代と言われる現在でも、非常に多くの受験生が集まり、入試が激化している有名大学がある。一方で、AO入試、推薦入試などを多用し、定員を充足しようとしている大学もある。また、18歳人口が減っているために、これまでは大学や高等専門学校(以下、高専)に入学しなかった生徒も進学するようになってきている。

そのためか、従来であれば、その分野に興味があり、能力のある学生が集まっていたはずの大学や高専の講義に、その分野にほとんど興味がない学生、自ら考えることなく答えだけを教えてもらおうとする学生、講義には出席をしているものの内容をなかなか理解できない学生が見受けられるようになっていく。

現在の大学や高専は、これらの学生に社会人としての基礎的な能力を身に付け、社会に送り出すことが望まれている¹⁾。また、文科省は、大学、大学院でのファカルティ・ディベロップメントを必須とすることや質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)を選定することなどで高等教育機関の教育力を強化しようとしている。

情報処理学会では、情報専門学科のためのカリキュラムJ07を提案²⁾し、6つの領域のカリキュラムを提案している。

- コンピュータ科学領域(CS)
- 情報システム領域(IS)
- システムエンジニアリング領域(SE)
- コンピュータエンジニアリング領域(CE)
- インフォメーションテクノロジー領域(IT)
- 一般情報処理教育(GE)

それぞれの領域の詳細は文献³⁾を読んでいただきたい。大学や高専で教えられている現在のカリキュラムやプログラミング系の講義などは必ずしもJ07を元にしたものとは限らない。J07に準拠しないカリキュラムであっても、個々の講義の中では、さまざまな工夫がなされ、学生の理解が深まるようになっていくことが多い。また、学生のサポート体制が構築されていることもある。これらの手法や体制は、情報処理学会の会員の間でも、必ずしも共有されているとは言えない。この連載を通し、これら

連載予定	大学・学科	領域	言語
2010年10月	早稲田大学・全学対象(文系中心)	GE	Java と dollittle
10月	東京電機大学・情報システムデザイン学系	混合*1	C言語
11月	東京理科大学・情報科学科	CS	Standard ML
11月	湘南工科大学・コンピュータ応用学科	GE	Visual Basic
12月	東京大学・理科系	CS	Ruby
12月	長野高等専門学校・電子情報工学科	CE	C言語, VHDL, MATLAB
2011年1月	青山学院大学・社会情報学科	IT	Scratch
1月	大阪府立大学・情報数理科学科	*2	C言語
2月	大阪大学・全学対象	GE	Processing
2月	高知工科大学・情報学群	SE	C言語, Java, アセンブラ

*1 CS, IS, SE, IT の混合。 *2 いずれにも該当しない。

表-1 連載予定の大学・学科とJ07の領域

のボトムアップ的な共有が行えればと考え、本連載を企画した。

今回の連載では、さまざまな大学、高専の先生にプログラミング系の講義を中心に、

- その講義内で学生にどのような知識やスキルを身に付けさせるのか、
- そのためにどのようなことを行っているのか、

を報告してもらおう。また、その成果や失敗点についても報告してもらおう。

今回の連載では表-1に挙げたものを用意している。でき得るかぎり、さまざまな教育機関とプログラミング言語を選んだ。また、連載の最後(2011年3月予定)には、まとめの意味で、卒業生が就職するであろう業界(システム系、通信系、ゲーム系)で教育に携わったことのある方々にも同じ題材で記事をお願いした。

参考文献

- 1) 中央教育審議会, 学士課程教育構築に向けて(答申)(2008-12-24), http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm
- 2) 情報専門学科におけるカリキュラム標準「J07」最終報告, 情報処理学会第70回全国大会シンポジウム(2008-03-13), <http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/taikai70sympo/index.html>
- 3) 特集: 情報専門学科カリキュラム標準J07, 情報処理, Vol.49, No.7, pp.719-774 (July 2008).

(平成22年6月15日)